

JR連合 政策News

第250号

2014年4月17日

第58回JR連合国会議員懇談会を開催 交通重点政策、次年度予算・税制要望等政策課題について議論！

JR連合は、4月17日朝、衆議院第二議員会館において、第58回国會議員懇談会を開催した。

懇談会には、高木義明会長（衆）、榛葉賀津也副会長、三日月大造事務局長など6名の国会議員と秘書8名、JR連合、JR単組代表者が参加し、当面する政策課題や組織課題などについて報告、討議を行うとともに取り組み方針の意思統一を行った。

高木会長は「交通政策基本法が昨年成立し、現下は地域公共交通活性化・再生に関する改正法案等が審議されている。JRをはじめとする公共交通の持続可能な形成に向けて全力で取り組んでいきたい」と力強く挨拶をおこなった。

続いてJR連合を代表して松岡会長は、政策課題の解決にむけて政策プロジェクトの取り組みに対して感謝を述べた上で、「短期的な政策課題の解決にむけて交通重点政策を策定した。自然災害や防災対策の強化、鉄道インフラ基盤の強化、地域公共交通の活性化等の内容を盛り込んだ。制度改善への取り組みとともに次年度の予算概算要求・税制要望と併せて議員懇各位には更なるご協力をお願いする」とあいさつした。

議事では、①交通重点政策の概要②次年度予算・税制改正の取り組み③当面する組織課題について意見交換を行った。

質疑では、「トンネルや橋りょう等の鉄道設備の老朽化に対して、経営体力に応じた助成措置が必要」との指摘や「駅を中心としたコンパクトシティ化に向けての法改正に取り組んでいく」「税制改正要望事項はJRの経営安定化に不可欠な内容であり前向きに取り組みたい」との意見が出された。

また、JR総連・日貨労におけるヤミ専従問題については、この間、特例業務勘定や税制改正等の政策課題の解決にむけて議員懇談会としても精力的に取り組んだにも関わらず不正行為が行われたことに対して、議員各位から批判の声が相次いだ。



以上